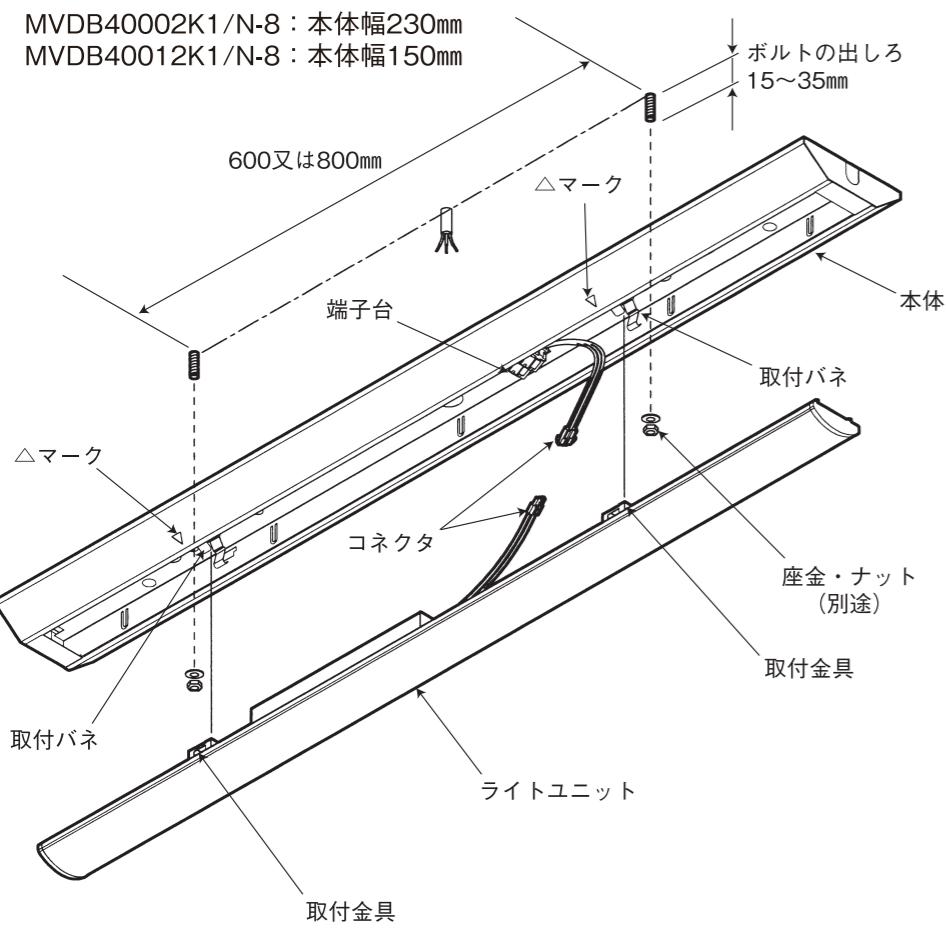
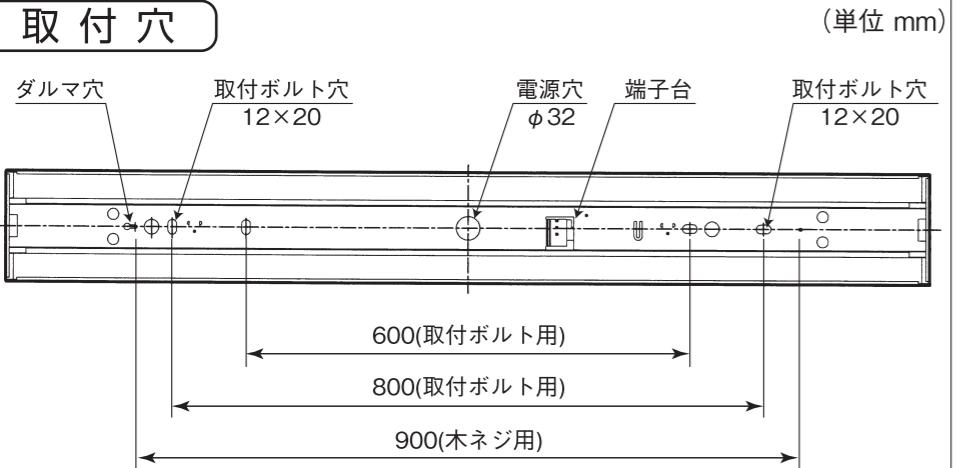


各部のなまえと取付けかた

△警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



取付穴



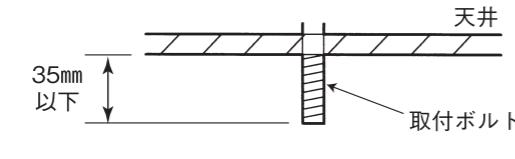
1 取付前の確認

器具質量に十分耐えるよう取付ボルトまたは木ねじ取付部の強度を確保する。

- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8またはM10を使用する。
- ・木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用する。

△警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)



(注) 取付ボルト長さは、天井面より35mm以下にする。

2 本体を取付ける

- (1) 電源線・アース線を本体電源穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取付ける。

△警告

取付けが不完全な場合落下的原因

3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

△警告

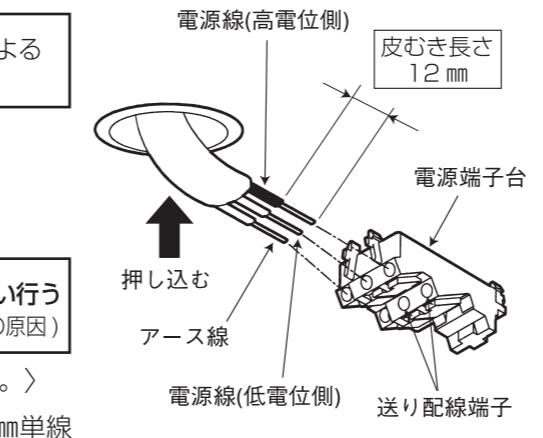
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種(第3種)接地工事が必要です。>

適合電線: $\phi 1.6\text{mm}$ 単線 $\phi 2.0\text{mm}$ 単線

△警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

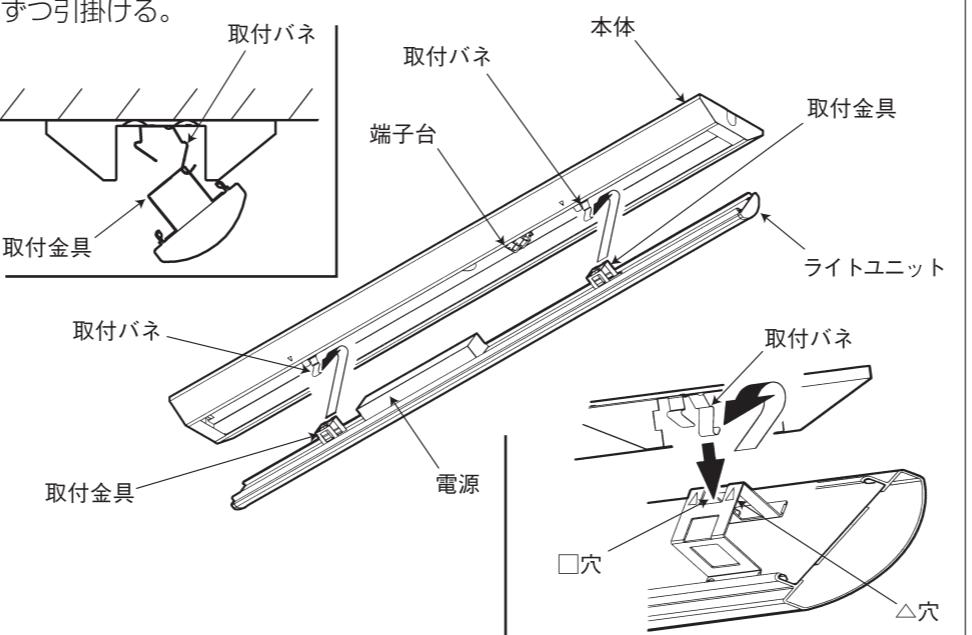


| 明るさタイプ | 送り総容量 |
|-----------|-------|
| 6900lmタイプ | 12A以下 |
| 5200lmタイプ | 11A以下 |
| 4000lmタイプ | 14A以下 |
| 上記以外 | 20A以下 |

(注) 電源線接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理してください。

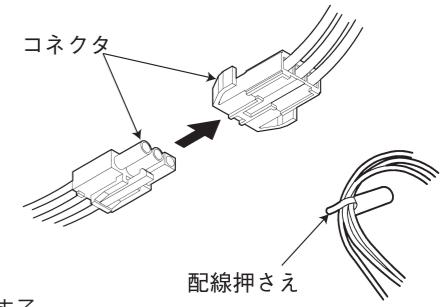
4 ライトユニットの引掛け

ライトユニットの電源が端子台の反対側に取り付くようにライトユニットの方向を合わせ、取付金具の△穴側の□穴に取付バネの引掛け部を入れて片側ずつ引掛けける。



5 コネクタの接続

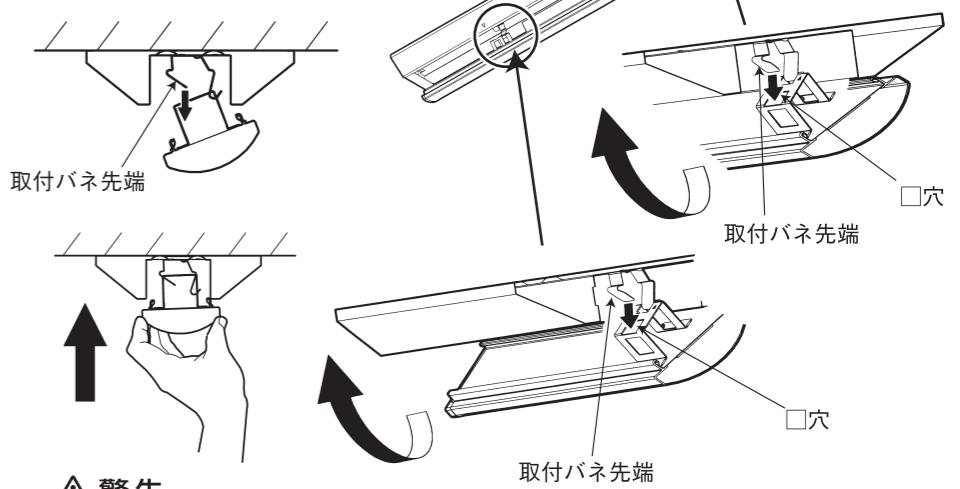
- (1) 本体とライトユニットのコネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。



- (2) コネクタ接続をしたコードは本体の配線押さえを曲げ起し、配線を固定する。

6 ライトユニットの取付け

取付バネ(両側)の先端を取付金具の□穴に差し込みライトユニットを器具本体に押し上げる。



- △警告**
- 取付けが不完全な場合、落下的原因

器具の清掃

△警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

- ライトユニットのカバーは樹脂製のため、取扱いに注意してください。(カバー破損のおそれあり)
- 点灯中や消灯直後はライトユニットやその周囲をさわらないこと。(やけどのおそれあり)

<本体のお手入れについて>

本体の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけて、よくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないように、よくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<ライトユニットのお手入れについて>
ライトユニットは柔らかい布で拭いてください。

知っておいていただきたいこと

- 点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ライトユニット中央部が若干暗く見えることがあります、異常ではありません。

保証について

- 保証期間は商品お買い上げより1年間です。
ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

